

千葉県理学療法士会 学術局 研究支援委員会主催
2021年度 PTの研究力を高める研究支援セミナー 2021.8.18
第2回「研究をはじめよう！」

研究の意義とテーマの見つけ方
(セミナーサマリー)

高杉潤

千葉県理学療法士会理事 学術局研究支援委員会委員長
東都大学 幕張ヒューマンケア学部 理学療法学科

【Point1】 研究意義とテーマの見つけ方

1. 研究とは、知らないことをよく調べて真実を明らかにすること。
2. 臨床は研究テーマの宝庫。臨床で遭遇する疑問(Clinical Question:CQ)は多い。
3. 研究テーマを見つける最初のポイントは、CQを見つける、見逃さないこと。
4. CQを調べれば、実は研究は既に実施されている。
5. CQを調べても明らかではない場合、研究の疑問(Research Question:RQ)に遭遇したことになる。このRQが研究すべきテーマとなる。

【Point2】 CQを見つける4つのポイント

1. 症例の困っていることに傾聴、着目する。
2. 自分(研究者)自身が医療現場で困っていることに着目する。
3. 日常行っている診療が正しいか疑う。
4. 先人の意見(病院の習慣、上司・先輩の意見、論文)を疑う。

【Take-home message】

臨床で遭遇する疑問(CQ)を見つけたら、まずは『どこまで明らかになっていて、どこまで明らかになっていないか』を明らかにすることです。そのためには、**関連する論文を多く検索し、レビューすること**が必要です。それでもCQが明らかでない(=論文で報告がない)場合、世の専門家も研究者も知らない疑問(RQ)の可能性が高く、研究する意義の高いテーマになるといえます。

研究テーマを決めるポイントは、『**どれだけ世に知られていないか**』で決まります。まずは、臨床疑問(CQ)を見つけ、RQに繋がるものか、論文(できれば英語論文)で調べてみましょう！

文献検索ツールの紹介

・PubMed (<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/>)

インターネットが使えればどこからでも検索可能です。約1800万件の文献情報を収録し、世界中の医学系、生命科学系学術雑誌に掲載された論文を無料で検索できます。

・Google Scholar(<https://scholar.google.co.jp/schhp?hl=ja>)

インターネットが使えればどこからでも検索可能です。世界最大手のGoogleが提供しており、学術論文の検索に特化したものです。

千葉県理学療法士会 学術局 研究支援委員会では、研究力を養うために重要な情報を発信しています。定期的に研究支援セミナーも開催しておりますので、ご興味がある方はご参加ください。